

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2009-64269(P2009-64269A)

【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2007-231882(P2007-231882)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 3 5 1 M

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月6日(2010.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置内のイベントの発生に応じて、該イベントの発生を示す R S S 情報を生成し、該 R S S 情報に該イベントに対応するレベルを割り当てる生成手段と、

前記生成手段により生成された R S S 情報と、該 R S S 情報のレベルとを保存する情報保存手段と、

前記情報保存手段により保存された R S S 情報の量が予め定められた上限を越えるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により超えると判定された場合に、前記情報保存手段に保存された R S S 情報の内、レベルが低い R S S 情報を削除し、新たに生成される R S S 情報のための空き容量を確保する削除手段と

を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記生成手段は、発生したイベントが画像形成装置の障害である場合、生成した R S S 情報に障害の種類に対応する固有の識別子を関連づけるとともに、障害以外のイベントよりも高いレベルを割り当て、

発生したイベントが障害からの復帰である場合、保存された R S S 情報の内、復帰した障害に対応する識別子が関連づけられた R S S 情報を検索し、該当する R S S 情報に付与されたレベルを下げるよう制御する制御手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記生成手段は、前記 R S S 情報に生成した日時情報を付加して保存し、

前記削除手段は、削除対象となる前記レベルが低い R S S 情報として、レベルが最も低い R S S 情報が複数存在した場合、その中から、付加された前記日時情報が最も古い R S S 情報を保存された R S S 情報から削除することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

保存されている R S S 情報のレベルを変更した場合、デバイスに障害が発生しており、かつ、その障害に応じた R S S 情報が保存されていないことを判定する第 2 の判定手段を更に備え、

前記第2の判定手段による判定の結果、デバイスに障害が発生しており、かつ、その障害に応じたRSS情報が保存されていない場合、当該障害の発生のイベント発生時に生成されるはずのRSS情報を前記生成手段により生成することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

画像形成装置内のイベントの発生に応じて、該イベントの発生を示すRSS情報を生成し、該RSS情報に該イベントに対応するレベルを割り当てる生成手段と、

前記生成手段により生成されたRSS情報と、該RSS情報のレベルとを保存する情報保存手段と、

前記情報保存手段により保存されたRSS情報の量が予め定められた上限を越えるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により超えると判定された場合に、前記情報保存手段に保存されたRSS情報の内、レベルが低いRSS情報を削除し、新たに生成されるRSS情報のための空き容量を確保する削除手段と

してコンピュータを機能させるためのプログラム。

【請求項6】

前記生成手段は、発生したイベントが画像形成装置の障害である場合、生成したRSS情報に障害の種類に対応する固有の識別子を関連づけるとともに、障害以外のイベントよりも高いレベルを割り当て、

発生したイベントが障害からの復帰である場合、保存されたRSS情報の内、復帰した障害に対応する識別子が関連づけられたRSS情報を検索し、該当するRSS情報に付与されたレベルを下げるよう制御する制御手段としてコンピュータを更に機能させることを特徴とする請求項5に記載のプログラム。

【請求項7】

前記生成手段は、前記RSS情報に生成した日時情報を付加して保存し、

前記削除手段は、削除対象となる前記レベルが低いRSS情報として、レベルが最も低いRSS情報が複数存在した場合、その中から、付加された前記日時情報が最も古いRSS情報を保存されたRSS情報から削除することを特徴とする請求項5または6に記載のプログラム。

【請求項8】

保存されているRSS情報のレベルを変更した場合、デバイスに障害が発生しており、かつ、その障害に応じたRSS情報が保存されていることを判定する第2の判定手段としてコンピュータを更に機能させ、

前記第2の判定手段による判定の結果、デバイスに障害が発生しており、かつ、その障害に応じたRSS情報が保存されていない場合、当該障害の発生のイベント発生時に生成されるはずのRSS情報を前記生成手段により生成することを特徴とする請求項5乃至7のいずれか1項に記載のプログラム。

【請求項9】

画像形成装置内のイベントの発生に応じて、該イベントの発生を示すRSS情報を生成し、該RSS情報に該イベントに対応するレベルを割り当てる生成工程と、

前記生成手段により生成されたRSS情報と、該RSS情報のレベルとを保存する情報保存工程と、

前記情報保存工程により保存されたRSS情報の量が予め定められた上限を越えるか否かを判定する判定工程と、

前記判定工程により超えると判定された場合に、前記情報保存工程により保存されたRSS情報の内、レベルが低いRSS情報を削除し、新たに生成されるRSS情報のための空き容量を確保する削除工程と

を有することを特徴とするネットワークデバイス管理方法。

【請求項10】

画像形成装置内のイベントの発生に応じて、該イベントの発生を示すRSS情報を生成

し、該 R S S 情報に該イベントに対応するレベルを割り当てる生成手段と、

前記生成手段により生成された R S S 情報と、該 R S S 情報のレベルとを保存する情報保存手段と、

前記情報保存手段により保存された R S S 情報の量が予め定められた上限を越えるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により超えると判定された場合に、前記情報保存手段に保存された R S S 情報の内、レベルが低い R S S 情報を削除し、新たに生成される R S S 情報のための空き容量を確保する削除手段とを備える画像形成装置と、

前記生成手段により新たに生成された R S S 情報を取得し、取得した R S S 情報に対応するイベントの発生を表示する端末装置と

を具備したことを特徴とする画像形成装置管理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

上記目的を達成するために本発明は以下の構成を有する。

画像形成装置内のイベントの発生に応じて、該イベントの発生を示す R S S 情報を生成し、該 R S S 情報に該イベントに対応するレベルを割り当てる生成手段と、

前記生成手段により生成された R S S 情報と、該 R S S 情報のレベルとを保存する情報保存手段と、

前記情報保存手段により保存された R S S 情報の量が予め定められた上限を越えるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により超えると判定された場合に、前記情報保存手段に保存された R S S 情報の内、レベルが低い R S S 情報を削除し、新たに生成される R S S 情報のための空き容量を確保する削除手段とを備える。